

森に響くオーボエの調べを楽しみ!

●14年目の浦高百年の森現地活動/下刈!

今日は10時から寄居町風布の標高450mの森にて「浦高百年の森/令和元年度第1回現地活動(下刈等)」が行われました。今回は浦和一女麗風会の参加がなかったため、73名での森活動となりました。



【朝の挨拶風景】



【小島校長のご挨拶】

10時から開会式が行われ、玉熊英一百年の森運営委員長からご挨拶、小島克也浦高校長からのご挨拶があり、事務局から活動内容が伝えられました。活動内容は主に木々の間に伸びている下草を刈る作業が主なもので、自然体系を残す調査林では周囲の杭の交換とロープ設置の作業でした。

10時20分から作業が始まり、私は現役高校生(環境委員会の1~3年生)たちと一緒に里山急斜面での草刈りを担当しました。昨年に比べると草が伸びていないため草いきれの中での作業ではありませんでしたが、今朝まで降っていた雨で草が湿っていたため何度か転んでしまいました。



【現役生も斜面で草刈】



【渡辺克也さんも草刈】

12時からは昼食、冷えたトマトとキュウリ、そしてスイカの甘さは格別でした。そして、食後のコンサートはベルリン在住のオーボエ奏者・渡辺克也さんから3曲のプレゼント、1曲目は映画「ミッション」より「ガブリエルのオーボエ」、2曲目は「浦高キャンパスファイヤーの歌『遠き灯』」、3曲目の循環呼吸が50秒続く曲では拍手喝采でした。森に素敵な調べが響きました。



春日部地区浦高会からも5人と伊藤家族が出席しました。



【昼食後の集合写真】